

製品名: EphB6 マウスモノクローナル抗体

カタログ番号: AMM80538

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	119kDa

抗原情報

遺伝子名	EphB6
別名	HEP; MGC129910; MGC129911
遺伝子 ID	2051.0
SwissProt ID	O15197
免疫原	大腸菌で発現した EphB6 の精製された組み換え断片。

背景

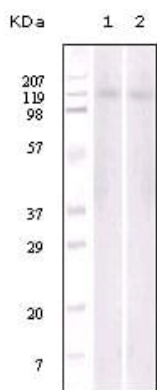
EPH 受容体 B6 (EphB6) は、1006 アミノ酸のタンパク質（約 110 kDa）で構成され、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。Eph 受容体とエフリンリガンドは、発生過程において明確に定義された機能を持つ膜結合

型細胞間コミュニケーション分子です。EphB6は、様々な胚組織と成体組織の両方で発現しています。EphB6は、キナーゼドメインに保存されたアミノ酸にいくつかの変異が含まれており、触媒的に不活性であるという点で、受容体チロシンキナーゼの Ephファミリーの中でユニークなメンバーです。EphB6は、細胞接着と細胞移動を正と負の両方で制御することができ、Srcファミリーキナーゼによる受容体のチロシンリン酸化は、機能遷移のための分子スイッチとして機能します。

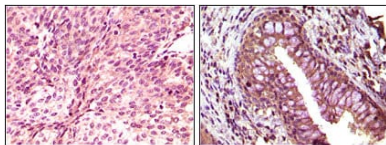
研究分野

-

画像データ



EphB6 マウス mAb を用いた Jurkat (1) および NIH/3T3 (2) 細胞溶解物のウエスタンブロット分析。



パラフィン包埋ヒト膀胱癌 (左) および再発癌 (右) 組織の免疫組織化学分析。DAB 染色による EphB6 マウス mAb を使用して細胞質の局在を示しています。